

ラサール、檜山北、函工初戦突破

秋の高校野球予選

函館支部

第72回秋季北海道高校野球大会函館支部予選(道高野連など主催)は14日、函館オーシャンスタジアム(千代台町)で開幕し、1回戦3試合を行った。函ラサールは江差・奥尻・上ノ国の檜山連合に、檜山北は函高専に、ともに10-0で五回コールド勝ち。函工は



〔檜山北―函高専〕二回2死二、三塁、2点適時打を放つ檜山北の斉藤(桶谷駿矢撮影)

◇函館支部(函館オーシャンスタジアム)

△Aブロック▽

10-0	10-0
20日10:00	22日10:00
10-0	6-3
20日10:00	20日12:30
函ラ	函工
檜山	大野
函高	八雲
函七	大谷

△Bブロック▽

15日10:00	16日10:00
21日10:00	21日12:30
15日12:30	16日12:30
22日12:30	16日12:30
函大	函大
函大	函大
函大	函大
函大	函大
函大	函大
函大	函大

七飯・大野農・八雲の渡島連合に6-3で逆転勝ちした。

函ラサールは初回、打者9人の猛攻で4得点。五回には、6番斎藤の適時打で試合を決めた。先発服部は5回を無安打無得点に抑えた。檜山連合は五回、得点圏に走者を進めたが、あと1本が出なかった。檜山北は初回、7番斉藤の左前適時打などで一挙に4得点。二回にも斉藤が2点適時打を打ち、大きく突き放した。函高専は五回、安打2本を放つも力及ばなかった。函工は1点を追う八回、

2番中村の内野安打で同点とし、失策や6番金田の中前2点適時打で突き放した。渡島連合は三回、4番大住の二塁打などで3点を先行したが、四回以降は2安打に抑えられた。

(加藤蓮花、和田樹)

▽Aブロック1回戦
江差・奥尻・上ノ国 00000
函ラサール 4112X0/100
(五回コールドゲーム)

▽リズム崩れ悔しさ 渡島連合の主将でエースの近藤(七飯、2年) 写真



は8奪三振と力投した。悔やんだのは逆転された八回。「先頭打者を出した後リズムが崩れた」送球ミスや暴投などを重ね4失点。捕手の佐藤駿(七飯、2年)の「自分でピンチを広げるな」との言葉で立て直し、九回は無失点に

〔江〕金子、加賀、横山
〔函〕服部、坂下
〔三〕三井、北川
〔檜〕山北、服部
函高専 040001010
(五回コールドゲーム)
〔檜〕山下、次田
〔高〕若松、安田
〔函〕三井、中川
〔函工〕中川、中川

七飯・大野農・八雲
000302000040036
(一)西村、山崎、田代
(七)近藤、佐藤駿
〔三〕三井、田代
〔函工〕中村、金田(工)、大住

抑えた。「3校一緒に過ごす時間が短かった」と初めての連合チームの難しさも経験。「連合はこれで解散だが、また顔を合わせるときに向けて、各校で力をつけたい」と前を見据えた。